



2013年2月 第11巻第2号

- ・忘れられない物語
- ・今月の思想

かく語りき—聖人の言葉

「アリのようにこの世を生きなさい。
この世は真実と真実でないことが混ざり合っている。ちょうど砂糖と砂が混ざり合っているかのようだ。アリになって砂糖だけを取るのだ」

(シュリー・ラーマクリシュナ)

「草の葉よりも慎ましく、木よりも我慢強くありなさい。常に他者に敬意を払い、決して見返りを期待してはいけない」

(チャイタニヤ・マハープラブ)

今月の目次

- ・かく語りき—聖人の言葉
- ・4月の予定
- ・ホーリー・マザー シュリー・サーラダー・デーヴィー生誕160周年記念祝賀会
- ・「至高の女神であるホーリー・マザー (ジャガダートリ)」
スワーミー・メーダサーナンダによる講話

4月の予定

4月6日(土) 14:00~16:00

東京・インド大使館例会

場所：インド大使館 : 03-3262-2391

講義：バガヴァッド・ギーター (無料)

お問い合わせ：逗子協会 046-873-0428

4月6日(土) 17:00~

シヴァーナダ・ヨーガ東京センター
講話

詳細：<http://www.sivananda.jp/>

4月7日(日)、14日(日)、21日(日)、
28日(日) 14:00~15:30

ハタ・ヨーガ・クラス

場所：新館アネックス

*体験レッスンもできます。

お問い合わせ：逗子協会 046-873-0428

4月12日(金) ~14日(日)

サットサンガ in 別府 (13日、14日)

お問い合わせ：じねん 0972-62-2338

4月18日（木）～20日（土）
アーユルヴェーダ&ヨーガ学会 in 宮崎

4月21日（日）10:30～16:30

逗子例会

場所：逗子本館

午前：スワミーの講話

午後：朗誦・輪読・講話

4月26日（金）

ホームレス・ナーラーヤナの奉仕活動

現地でのお食事配布など。

お問い合わせ：佐藤 090-6544-9304

4月27日（土）

サットサンガ in 三鷹

場所：沙羅舎

講話：「どうして私は生きていますか？」

お問い合わせ：片岡 0422-41-8618

4月29日（日）5:00～20:00

アカンダ・ジャパム

場所：逗子本館シュライン

その他：食事を提供します。

連絡先：三田村 (dd94dd94@nifty.com)
まで

4月20日までにご希望の時間帯（1時間単位で何時間でも）をご連絡ください。

皆様のご参加をお待ちしております。

**「至高の女神であるホーリー・マザー
（ジャガッダートリ）」**

スワミー・メーダサーナンダによる 講話

ホーリー・マザーについての講話は大変難しいものです。もちろん、シュリー・ラーマクリシュナやスワミー・ヴィヴェーカーナンダについて講話を行うのも簡単ではありません。しかし、ホーリー・マザーの生涯は非常に控えめで静かで、劇的な出来事がほとんどなかったため、マザーをテーマにお話しするのは特に難しいのです。マザーの最も素晴らしいと思われる点は、その美しく愛情深い母性でしょう。とは言え、毎年同じこととお話しすることはできません。私が毎年同じ原稿を使っているのではないかと皆さんに思われてはいけませんから。



そこで、マザーの他の面について何かお話ししようと思います。ただし、今日は英語と日本語の両方でお話をしないといけませんので少し大変です。何か言い忘れてしまうかもしれませんので、その場合はどうぞご容赦ください。



神道にもヒンドゥー教にも神様や女神様がたくさんいますが、この二つの宗教はどう違うのでしょうか。ヒンドゥー教では実はたった一人の神様、ブラフマンがいるだけです。それ以外の神様や女神様はすべてこのブラフマンと呼ばれる神様の様々な現れにすぎないのです。ブラフマンは英語では至高の實在 (Supreme Reality) と言われます。ヒンドゥー教にも自然の神様、風の神様、火の神様、太陽の神様、月の神様など非常に多くの神様がいますが、すべては同じ至高の實在が異なる現れとなっているのです。この点が神道と異なるところです。神道では神々はすべて別個で独自の存在です。



ヒンドゥー教の面白い点として、同じ神様に二つの面があるというところもあげられます。例えば、維持の神様ヴィシュヌは、一つにはこの宇宙を維持し、もう一つの面としてはブラフマンであり形も性質もありません。また、カーリーは母神であるという面と、形も性質もないブラフマンであるという面を持ち合わせています。そしてヒンドゥー教では、神様は人間の姿を取って、人々が霊性の道を歩むのを導き人々に平和と幸福の道を示すと信じられています。

ヒンドゥー教における神の化身の場合、一つの形にブラフマンと母神の両面を見ることがあります。例えばシュリー・チャイタニヤの場合がそうです。しかし、シュリー・クリシュナやシュリー・ラーマクリシュナの場合では、母神とブラフマンが別々の現れとなっています。シュリー・クリシュナの場合、クリシュナがブラフマンの化身でラーダーが母神またはプラクリティです。シュリー・ラーマクリシュナの場合、ラーマクリシュナがブラフマンの化身で、ホーリー・マザーがプラクリティの化身です。

ではこのブラフマンとプラクリティとは何なのでしょう。ヒンドゥー教では、ブラフマンには形も性質もありませんが、ブラフマンの力は投影されると言われています。この力こそがこ

の宇宙を創造し破壊するのです。そしてこの力はプラクリティまたはシャクティ、すなわち根源エネルギーと呼ばれます。神の力であるこのシャクティまたはプラクリティには、ヴィディヤとアヴィディヤという二つの面があります。アヴィディヤ・シャクティは人間を束縛します。プライドやエゴ、欲などいわゆるマーヤーで人間を束縛するのです。一方、ヴィディヤ・シャクティは束縛を断ち切り解放します。



興味深いことに、プラクリティすなわち母神がホーリー・マザーやラーダーのように人間の姿を取って現れると、アヴィディヤの痕跡が全くない純粹なヴィディヤとなります。この場合、この神の化身は束縛するためでなく解放するためにやって来るのです。ですから、ホーリー・マザーは私たちをマーヤーで束縛するためでなくマーヤーか

ら解放するために生まれたのです。性質としては二つの面があるのですが、人間として現れると一つの面しかないのです。外見上は質素で純真で、田舎の村のごく普通の娘に見えますが、内面的には極めて非凡で、特別で、驚く程素晴らしいのです。

一方、シュリー・ラーマクリシュナの卓越性は際立っており、誰の目にも明らかです。ラーマクリシュナはしばしばサマーディに入りました。食事をしている時に突然動かなくなって笑みをたたえながら至福のサマーディに入りました。音楽を聴いていると、高まってサマーディに入りました。神様のことを話している時にラーマクリシュナが恍惚状態になってサマーディの高みへのぼり、体全体から光を放つのを多くの人が目にして驚嘆したものでした。私たちの大半にとってサマーディはめったに経験することのない状態ですが、ラーマクリシュナにとっては当たり前のものでした。ラーマクリシュナがサマーディの状態にある時、有名な医者が脈を取ろうとしましたが、脈がなく生命の兆候が他にもなかったため困惑したことがありました。このように、ラーマクリシュナが特別な人間であることは誰の目にも明らかでした。外見から、行動から、話から、一目で見て取れたのです。スワーミー・ヴィヴェーカーナンダもまた強烈なカリスマ性がありました。スワーミーの写

真を見ただけで、他の人とは非常に違うことが分かります。しかし、ホーリー・マザーにはこのような点はありませんでした。

マザーの御写真から見て取れるのは質素な気品です。ホーリー・マザーの真の性質を見抜いてそれを周囲に伝えたのはシュリー・ラーマクリシュナだけでした。ラーマクリシュナは、マザーが母神の化身であると言いました。マザーはラーマクリシュナの礼拝を受け入れ、神の化身であると受け入れることもできました。マザーはありきたりの女性だったのでしょうか。ラーマクリシュナはよく「彼女は私のシャクティだ」と言っていました。しかしごくまれにしかマザーは真の姿を現しませんでした。



ある時、若い僧侶がコルカタのカーリガートにあるカーリー寺院に行きたいと思い、スワミー・プレマーナンダジに許可を願い出ました。プレマーナンダジは、生きているカーリー母神にまず会ってプラナムをしてからカー

リガートに行くようにと勧めました。僧侶はその言葉に従い、ホーリー・マザーにプラナムをしてプレマーナンダジに言われたことを話しました。するとマザーは静かに答えました。「そうです、バブラーム（プレマーナンダジ）が言ったことは正しいのですよ」

コルカタのホーリー・マザー・ハウスで、チャンドラ・バブーという名の信者が働いていました。彼はマザーに深い尊敬の念を抱いており、マザーは大きな愛で彼に応えていました。ある時、マザーが生まれ故郷のジャイランバティに帰郷する際、チャンドラ・バブーがお供をしていて、二人はある村の休憩所で休憩しました。バブーはこの機会を利用して特別なお願いをしました。「マザー、私はマザーが神聖な存在である、女神様であると聞いています。どうぞその面を私にお見せください」ご存知の通り、普通、信者は神様のビジョンを見るという恵みをいただくまでに霊的修行をたくさん積まないといけません。しかし、チャンドラ・バブーはマザーに神様の姿形を彼の前で現してほしいとお願いしたのです。これは明らかに変わったお願いでした。

最初マザーは、そのような形は取れないし自分は普通の女性であると言って受け付けませんでした。しかし、チャンドラ・バブーは断られてもあきらめずに、願いを聞いてほしいと何度も頼

みました。ちょうど子供が母親に何かをしつこくねだるように、彼は頼み続けました。遂にマザーは折れて、自分が生きている間は誰にもこのことを言わないと約束するなら姿を見せてあげましようと言いました。そして、この宇宙を維持する至高の女神ジャガッタートリのビジョンを彼に見せたのです。このビジョンは光でいっぱいとなり（ジョーティ）、彼は辛うじてそれに耐えましたがほとんど意識を失いました。このように、ホーリー・マザーは自分の神の性質を常に分かっていましたが、それを人には見せず普通の女性として振る舞っていたのです。



ホーリー・マザーは一部の信者に対し

「生まれてくるのはこれが最後ですよ」と言うこともよくありました。これほどの確信を持って誰かの未来を見通すことができる人などいるのでしょうか。マザーには、私たちの過去、現在、未来が見えたのです。だからこのようなことが言えたのです。さらに、マザーはその霊的な力によって束縛をその場で断ち切り、そのように言うことができたのです。また、マザーは次のように約束をしたものです。「息子よ、あなたをいつも守っている母がいることを忘れてはいけません。信じなさい。私が、あなたをいつも守っている母なのですよ」

私も自らの経験から、マザーの約束は本当であると言うことができます。ですから、この生誕祭の日にマザーの言葉を皆さんも信じてください。私たちには朝から晩まで際限なく問題や危険が降りかかるわけですから、これは素晴らしい約束です。このような確実な約束なしに生きることは、大変なことです。私たちの信じる力はとても浅薄なため私たちには信じることができないのです。マザーが守ってくれと信じることができれば、私たちに大きなプラスとなります。ホーリー・マザーの御写真を持ち歩くのもよいでしょう。これはとても役に立つことがあり、実際にやっている人も多くいます。困ったことがあったらいつでもこの写真を見て、マザーがそばにいてくださ

るのだと感じて心から祈りましょう。そうすれば、いつか必ず救いの手がさしのべられます。

忘れられない物語

火起こしの術

ある発明家が何年も苦勞して火起こしの術を発見しました。発明家は雪に埋もれた北の地方にその道具を運び、ある部族に火起こしの術とその利点を教えました。部族の人々は この目新しい術にすっかり夢中になり、お礼を言うことさえ忘れていました。発明家はある日そっとそこを立ち去りました。

発明家は卓越した才能に恵まれた稀有な人間でありながら、人々の記憶に残りたいとか崇められたいという望みは露ほども持ち合わせておらず、自分の発見が誰かの役に立ったと知るだけで満足でした。

発明家が次に訪ねた部族は、一つ目の部族と同じくらい熱心にこの術を学びました。しかし、土地の僧侶たちはよそから来た人間が人々の心をつかんでいるのを妬み、人を使って発明家を殺させました。そして、自分たちがやったのだと疑われないように、聖堂の主祭壇にその偉大な発明家の肖像画を飾り、彼の名がたたえられ彼が忘れられることのないよう、礼拝の方法が定め

られました。儀式のやり方が一つでも改められたり除外されたりすることがないように最大の配慮がなされました。火起こしの道具は小箱に入れて祭られ、信ずる者が箱の上に手を置くと救われると言い伝えられました。

高僧が自ら、発明家の生涯を編纂する仕事を引き受け、これは聖典となりました。聖典の中で、発明家の愛に満ちた優しさが皆の見習うべき手本として述べられており、その輝かしい行為がほめたたえられ、超人的な資質が信条となりました。僧侶たちは、聖典が未来の世代にしっかりと伝えられるようにし、発明家の言葉の意味やその神聖な生と死の意義を権威を持って解釈しました。そして、教義から外れた者を誰でも、無慈悲に死や破門で罰しました。

僧侶たちはこれらの宗教的務めにまい進しましたが、民は火起こしの術のことを完全に忘れてしまいました。

「砂漠の教父たちの生き方」から――
ロット僧院長はジョセフ僧院長を訪ね、言いました。「神父様、ささやかながら私は私にできる範囲で、規範を守り、断食し、祈り、黙想し、瞑想しています。そして、できる限り邪念を払って心を清めております。さて、さらに私は何をすべきでしょうか」

年長の僧院長は答えとして、立ち上がると天に向かって手をかざしました。すると、彼の指は火のついた十本のランプに変わりました。彼は言いました。「このように、自らが火となりなさい。」

(S・J・アンソニー・デ・メロ「カエルの祈り (The Prayer of the Frog)」)

今月の思想

欲望をすべて蒸留すると、
この二つに投票するだろう。
より愛すること
幸福になること

(ジャラルール・ウッディーン・ルーミー)

発行：日本ヴェーダータ協会
249-0001 神奈川県逗子市久木 4-18-1
Tel: 046-873-0428
Fax: 046-873-0592
Website: <http://www.vedanta.jp>
Email: info@vedanta.jp